

# 電動カート試乗会 報告書

2021年11月8日

認定NPO法人  
青葉台さわやかネットワーク  
小林 秀夫

## 目次

1. 背景	3
2. 基本的な枠組み	3
3. 準備	4
4. 広報	5
5. 試乗会	6
6. 試乗会の結果	7
7. 本試乗会を通じて学んだこと	10

## 別添資料

1. プロジェクト概要	19
2. 協力事業者の選定	21
3. 回覧板用資料	
ポスター	22
何故今、青葉台で電動カートの普及なのか？	23
4. アンケートの結果	27
5. 回覧板用資料	
電動カート試乗会のご報告	30



10月6日（水）と10月15日（金）に(株)セリオの協力を得て、電動カートの試乗会を実施した。本報告書は、今回実施した試乗会の全体像を検討し、今後の活動の参考とすることを目的としている。

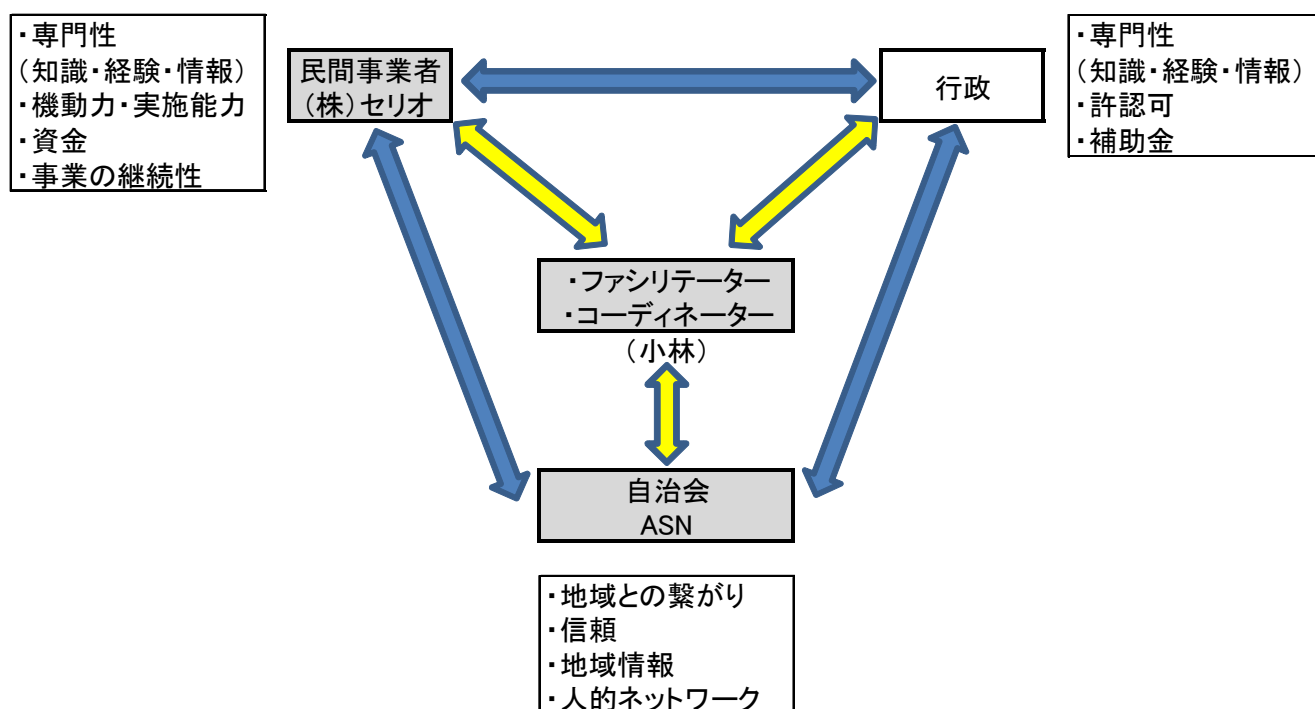
## 1. 背景

2020年11月に「青葉台福祉タウン構想」が39PJの一部門として青葉台町会協議会に承認され、その中の4番目の活動である「電動アシスト3輪車や電動カート（セニアカー）等の青葉台での普及を支援」を青葉台さわやかネットワーク（ASN）が担当することになり、小林が実施支援を行う事になった。

## 2. 基本的な枠組み

本件実施の基本的な枠組みは下記の図1.各関係者の役割と強みに示した通り。

図1. 各関係者の役割と強み



本件は、自治会・ASNの強みである地域との繋がり、信頼、地域情報、人的ネットワークと(株)セリオの専門性、実施能力、資金、事業の継続性と言った両者の強みを組み合わせることで、より効果的に電動カートの普及事業（試乗会）が実施できると考えた。そして、これまで連携の無かった(株)セリオと自治会・ASNの連携を促す役割がファシリテーターの小林の役割とした。

こうしたアレンジをすることで、専門性や実施能力などを考えると自治会・ASN 単独



ではできない試乗会を、(株)セリオの協力を得て実施が可能となる。また、(株)セリオも自治会・ASNとの共同事業は、自社製品の効率的な販売促進に繋がり利益があると考えられる。

### 3. 準備

#### 試乗会の概要決定 (2021年1月~2月)

青葉台の高齢者は、今後青葉台で生活を続けて行く上で不安を抱えている。最大の不安は、生活に必要な物の買い物に行けるか？病院に行けるか？と言った移動に関する事である。他方、青葉台はスーパーマーケットやドラッグストア、郵便局・ATM、病院、歯医者、理美容院、趣味のクラブなど、生活に必要なサービスは域内ではほとんど賄うことができ、しかも交通量が少なく静かである。

そのため、自力での移動に支障がある人たちが電動カート等を利用して自分で出かけるようになれば、移動に関する問題の解決に繋がる。そのため、目的は「電動アシスト3輪車や電動カートの試乗会を通じて、これらの移動手段に対する高齢者の理解を深め、興味を持ってもらい、普及に努める」とし、試乗会を実施する事とした。

当初のイメージは、各町会（7町会とダイアパレスで8回実施）で5-6名の参加者を得て各々の町会で実施する小規模であるものの、参加者の居住環境下で比較的長い時間（10分程度）の試乗を考えていた（別添資料1. 電動アシスト3輪車や電動カートの普及支援プロジェクト概要）。その内、最初の2回ほどを小林が支援し、その後はASNで実施してもらうことを想定していた。しかし、その後の議論で、「まずは電動カートを青葉台の高齢者に知ってもらう事が大切で、その後の個別の指導や住環境での試乗会は後日事業者の方にやってもらう方が良いのではないか」との結論に至り、今回のような実施方法、つまり、みどりが丘集会所で1回、青葉台自治会館で1回の実施となった。

実施場所に関しても、当初は居住環境での試乗を検討していたので、各町会の最寄りの公園などでの実施を検討していた。しかし、雨天での参加者への連絡方法に問題があり、雨天でも実施できる上記2か所となった。広報の方法は回覧板を想定していたため、実施日の1ヵ月以上前に準備し、1ヵ月の余裕をもって町会協議会を通じて各町会長に依頼する必要がある。予備日を設定するとの案も有ったが、メンバーが固定していない一般の高齢者に対して、予備日での対応は困難ではないかと考えた。

当初、試乗会は5-6月頃の実施予定で活動を行っていたが、以下の2つの問題で10月に変更になった。

- コロナの感染拡大で緊急事態宣言が出された。
- 緑が丘集会場と青葉台自治会館の予約が困難。

#### 事業者の選定（2021年2月）

2021年2月に試乗会に協力してもらう事業者の選定を行った。まず、青葉台で介護保険事業を行うオレンジ居宅介護支援事業所から電動カート事業を行う事業者を2社（(株)至誠堂 Hana ムツミ福祉用具と(株)タサカ）を推薦してもらった。そこに、定期的に電動カートの広告を入れている(株)セリオを入れて、3社の中から選定を行った。選定は各社を訪問しインタビューを行い、その結果を基に(株)セリオをお願いすることとした。選定に関する情報は別添資料2.協力事業者の選定を参照。

#### 事業者との打ち合わせ（2021年3月~10月）

3月中に2度(株)セリオと試乗会の打ち合わせを行った。1回目は小林1人で面会し、試乗会実施の概要を説明し、実施に関するアドバイスを得ると共に、どの様な支援が期待できるのか？について協議を行った。(株)セリオからは、広報用のポスターやチラシの印刷の支援が行えるとの回答を得た。2度目は高柴理事長、中谷理事と訪問し、紹介とこちら側の期待を伝えた。また、その場で電動カートの試乗をした。3名とも初めての経験で、思っていたより速い事や操作が簡単な事を体験すると共に、電動カートの可能性を確認できた。

その後のやり取りはメールで実施した。

#### **4. 広報**

試乗会の広報は当初回覧板を中心とする事とした。そのため回覧板用のチラシ(250部)の作成がメインとなり、中谷さんが担当し3月に開始した。内容はA4で2枚、1枚は試乗会参加を呼び掛けるポスター形式、もう1枚は自治会・ASNが電動カートの普及を呼び掛ける理由を説明した物を作成した。

しかし、試乗会が延期になった為、6月に電動カート利用者のインタビューを実施することにした。電動カートの利用者がどの様に活用しているのか、どの様に生活に役立っているのかが知りたかったからである。ASNの利用者で電動カートを利用されている方が3名、ASNメンバーの知人が1名の4名にインタビューを実施。

このインタビューは思っていた以上の成果があった。我々プロジェクトチームのメンバーの知らない、利用者の活発な活動を知ることができ、電動カートの可能性により一層確信を持つことになった。また、インタビューの内容も回覧板に添付し、町会の皆さんにも、電動カートの有効性を実感してもらう事とした。別添資料3. 回覧板用資料

8月中に回覧板資料の印刷を終え、9月中の回覧実施で町会と連携。回覧板に合わせて町会の掲示板にポスター掲示を行う。

9 月の中旬になり、本当に回覧板だけで十分か不安になり、その他の方法も検討した。中谷さんよりチラシ配布の提案が有り、高柴さんを通じて青葉台睦会へ 100 枚、青葉台緑会へ 80 枚のチラシを配布した。また、樋口さんより防犯パトロールでのチラシ配布の提案があり、7 丁目で 20 枚、6 丁目で 20 枚の配布を行ったほか、中谷さんも 3 丁目で 20 枚の配布を行った。また、スーパーわかばでも 30 枚のチラシを配った。その他、ASN の会員にも声を掛けてもらった。

今回(株)セリオより広報活動への支援をご提案頂いていたが、今回は利用することを控えた。その理由は：

- 第 1 に、青葉台の人達に、この活動がお金を貰っての(株)セリオの販売促進活動の支援、または一部と捉えられなくなかったこと  
(そう思われてしまったら、住民の方からの信用が得られない)
- 第 2 に、外部の力を借りずに自分達だけでどこまで出来るのかを知りたかったため  
(自分達だけでどの程度出来るのか？を知ることは、今後の他の活動の計画に必要)

しかし、今後はこうした外部からの支援を有効に活用することも必要かと思われる。その理由は後の 7.本試乗会を通じて学んだことで議論したい。

## 5. 試乗会

### 第 1 回

日時：2021 年 10 月 6 日（水） 13:00～16:00

場所：みどりが丘集会所 駐車場

人員：さわやかネット 6 名

(株)セリオ 3 名

機材： 電動カート 3 台

電動アシスト 3 輪車 1 台

実施方法：駐車場で使用方法の説明を受け、簡単な試し乗りをした後、周辺の公道を試走した。説明、試走共に(株)セリオの方が担当し、声掛け、受付、交通整理、アンケート、その他円滑な試乗会実施の支援を ASN が担当した。

### 第 2 回

日時：2021 年 10 月 15 日（金） 13:00～16:00

場所：青葉台自治会館 駐車場

人員：さわやかネット 8 名

(株)セリオ 4 名

機材： 電動カート 3 台  
電動アシスト 3 輪車 1 台  
電動アシスト 4 輪車 1 台  
電動車いす 1 台（最後 1 時間）

実施方法：駐車で使用方法の説明を受け、簡単な試し乗りをした後、周辺の公道を試走した。説明、試走共に（株）セリオの方が担当し、声掛け、受付、交通整理、アンケート、その他円滑な試乗会実施の支援を ASN が担当した。

3 名が自宅と会場の移動に ASN の移送支援を受けて参加。

## 6. 試乗会の結果

### 成果

2021 年 11 月 8 日までに 2 名の方が電動カートの利用を開始された（介護保険によるリース）。2 名は試乗会に参加されたケアマネジャーさんからの紹介（1 名は試乗会に参加された方。足が不自由で ASN が自宅と会場の移送サービスを提供）。

今回の対象者は、今電動カートを必要としている人ではなく、将来必要となるかも知れない人であった。実際ほとんどの参加者は青葉台の端にある試乗会の会場まで自力で来場していた。その意味では 1 ヶ月で 2 名の方が利用を開始されたことは大きな成果と言える。

### 参加者の分析

2 回の試乗会全体で 57 名の参加者が有った（アンケートには答えていないが、こちらで把握している方 4 名を含む）。その内、電動カートへ興味を持った高齢者の方が 53 名、仕事上興味有ったケアマネジャーが 4 名。

今回のターゲットである青葉台の方々は 53 名で、青葉台に住む 80 歳以上の 5.7%の参加を頂いた。80 歳以上の人口を基準とした理由は、現在青葉台で電動カートを利用されている方が全員 80 歳以上であるため。

今回の参加者の傾向を分析するのはかなりの困難を伴う。理由は試乗会への勧誘方法が一律では無く、回覧板とポスター以外の知人の紹介とチラシは、町会によってその投入量が大きく異なる。また、サンプル数が少ないので、1 名で数字が大きく変化するため、誤差が大きい。実際 2 名の青葉台の方は何処の町会か分からないが、この方々の結果で数字が大きく変わる可能性が高い。こうした限界を考慮に入れて表 1.を見ていく。

表 1. 試乗会アンケートの結果

(別添資料 4. アンケートの結果より)

丁目	80歳以上の人口	参加者数	参加者の割合	性別	人数	何で試乗会を知ったか(複数回答)				
						回覧板	知人	チラシ	ポスター	その他
1丁目	57	4	7.0%	男	2	1	1			
				女	2	2				
2丁目	142	5	3.5%	男	5	2	1	2	2	
				女	0					
3丁目	165	9	5.5%	男	7	2	2	3		
				女	2	2				
4丁目	148	4	2.7%	男	2			1		1
				女	2	1	2		1	
5丁目	108	6	5.6%	男	3	1	1		1	
				女	3	3				
6丁目	132	8	6.1%	男	5	2	1	1		
				女	3	1				
7丁目	186	15	8.1%	男	3	3	1		1	
				女	11	6	2	2		
				不明	1		1			
青葉台		2		女	2	1				
小計	938	53	5.7%	男	27	11	7	7	4	1
				女	25	16	4	2	1	
				不明	1		1			
				小計	53	27	12	9	5	1
青葉台以外		4		男	3		1			
				女	1	1				
合計		57			57	28	13	9	5	1

80歳以上の人口は2021年10月1日現在、市原市の統計資料から

町会別に見ると、参加率の全体平均5.7%を越えるのは、高い方から7丁目の8.1%、1丁目の7.0%、6丁目の6.1%、平均以下は低い方から4丁目2.7%、2丁目の3.5%、3丁目5.5%、5丁目5.6%となっている。

1丁目の高い参加率は不明だが、6丁目と7丁目はみどりが丘で、青葉台の中のお店や病院に行くには距離が有ると共に、どうしても真ん中にある峰を越える必要がある。また、姉崎方面に買い物に行くにも、どうしても坂を上り下りする必要があるため、他の町会よりも高齢になっての移動に不安が高い可能性がある。それに比べ、1～5丁目側は主要なサービスに比較的近く、途中の障害もさほど厳しくないため、危機感が薄い可能性がある。

参加者の男女比は、青葉台全体で男性27名、女性25名となっており、性別による違いはほとんど無い。しかし、町会別にみていくと男女比がかなり違ってくる。男性が多いのは2丁目(男性5、女性0)、3丁目(男性7、女性2)、6丁目(男性5、女性3)、



女性が多いのが、7丁目で、女性 11、男性 3 と圧倒的に女性の参加が多い。

男性の参加が多い町会は知人・チラシで試乗会を知った方が多い町会で、プロジェクトチームからの直接的な声掛けの効果だった可能性がある。今回支援を頂いた組織は老人会、防犯パトロールと、ASN の会員さん等であり、こうした組織は男性が多く、また、1～5 丁目側でより組織化されている。

7丁目で女性の参加者が多かった理由の 1 つとして、女性が買い物など家事の担当する事が多いため、外出する必要に迫られている事と関係があると考えるが、そうすると 6 丁目の女性の参加者が少ない事の理由が何処にあるのか不明だ。

### 告知方法の分析

当初、試乗会の告知は回覧板とポスターのみを想定していた。しかし、試乗会の直前にチラシを中心に口コミを追加した。

参加者がどの様に試乗会を知ったかの調査（複数回答）では、回覧版 27、知人の紹介 12、チラシ 9、ポスター5、その他 1 となった。複数回答なので、厳密には分からないが、全体として約 3 分の 2 が当初の回覧板とポスターで参加し、残りの 3 分の 1 が知人の紹介やチラシで参加してくれた。

その中で、女性は回覧板による参加者が主流である一方で、男性は知人の紹介やチラシの影響が大きかった。女性は 25 名の内 16 名（64%）は回覧板を見て参加を決めた一方、男性は 27 名中 11 名（40%）であった。個別で見ると 1 丁目、3 丁目、5 丁目で参加した 2 名、2 名、3 名の女性は全員、また、7 丁目も 11 名中 6 名が回覧版で参加を決めている。他方、男性が回覧板を参考にしたのは 1 丁目、4 丁目は 0、3 丁目は 7 名中 2 名に留まっている。特筆すべきは 7 丁目の男性は 3 名中 3 名が回覧板を見ている事である。（男性の参加が知人の紹介やチラシに大きく依存している理由は既に見た。）

### 試乗会への参加理由と試乗した感想

表 2. 試乗会に参加した理由

試乗会に参加した理由	
将来必要になるかも	14
乗ってみたかった	10
車を止めた(時)	10
足腰が弱った(時)	6
自由に移動したい	1
知人に勧められた	1
合計	42

表 3. 試乗した感想

試乗した感想	
良い、楽	23
簡単	13
慣れが必要	7
少し不安	4
スピードが出る	3
合計	50

試乗会への参加理由は、今すぐに必要と言うよりは、「今後必要になった時の選択肢の1つとして経験しておきたかった」との回答が多く、こちらの意図した方々に集まったし、そうしたニーズが有ることが確認できた。

また、試乗した感想は、7割以上の方から、良い、楽、簡単といった好意的な評価だった。また、これら以外の感想も否定的な物ではなく、試乗すれば電動カートの良さや可能性を理解してもらえると感じた。

実際試乗会に参加された方が1名、既に電動カートの利用を開始されている（2021年11月2日時点）。足が不自由になってきた方で、試乗会への参加もASNの送迎サービスを利用された方の自宅の前には電動カートが止まっているとの事である。

## 7. 本試乗会を通じて学んだこと

今回の試乗会に向けた活動は、今後の試乗会の活動だけでなく、他の町会・ASNの活動のヒントになることがいくつか有ると思われる。そこで、今回感じた事、学んだ事を纏めておく。

### 民間事業者との連携

民間事業者と自治会・ASNの協力による活動の有効性を示す事が出来たと考える。

自治会・ASNの活動が停滞している。その理由は、青葉台の状況が大きく変化していく中、変化への対応や新しい事業への取り組みに苦勞しているからである。人材の高齢化や必要な知識を持った人材の不足がこうした停滞を生み出している。また、これまで自治会やASNは活動の全てを自分達で実施しようとしてきた。つまり、青葉台の住民が必要とするサービスをボランティア活動を中心に提供しようとしてきた。しかし、これから必要となるサービスを自前のボランティアに頼って提供することは、その多様性、質、量を考えると不可能である。そこで検討する必要があるのが、自治会・ASNの強みを民間事業者や行政の強みと組み合わせる事で、住民の必要とするサービスを提供しようとする試みであり、私の中では今回の試乗会はその実証試験の1つと捉えていた。

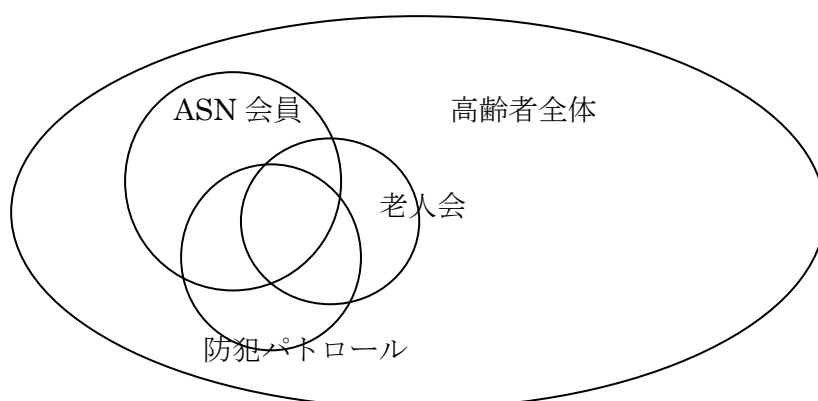
青葉台で特に問題となっており、「青葉台福祉タウン構想」で取り組もうとしている高齢者福祉の活動は、専門性が求められる分野であると共に、行政を中心とする巨大な社会福祉政策が動いている分野であり、大きな民間市場を形成している。その為、多くの民間事業者が活動を行っており、こうした民間事業者の専門性や機動力、実施能力、資金、事業の継続性と言った強みを活用しながら、住民サービスの向上に繋げることが他の案件でも可能と考えている。

今後の検討課題は、活動の持続性の確保と思われる。講師の派遣とか、単発的な活動では問題とならないが、継続することが必要な活動、経費が発生する活動、民間事業者の通常業務を補完・支援するような活動の場合は、互いにウィンウィンの関係を維持しながらコスト・シェアリングや一定の報酬の導入が検討される必要がある。こうしたアレンジがどの様になされているのかは、今後勉強する必要がある。

#### 試乗会等イベントや啓蒙活動の広報活動

今後の情報提供や啓蒙活動の広報をどのように行っていくのか？については、問題点が出てきた。

回覧板を読んでいない人がかなりいると考えられている。また、後期高齢者が約 1,500 名いる中で、老人会（約 200 名）、ASN 会員（約 300 名）、防犯パトロール（200 名）などのメンバーは限られていると同時に、同じ人たちが重複してそれぞれの活動に参加しており、こうした組織を通じた広報活動にも限界がある。回覧板を見ない、高齢者の活動にも加入していない人達にどの様に広報活動を行うのか？



#### • 回覧板

回覧板の最大の問題点は、どの程度の人が回覧板を読んでいるのか？が良く分からないことである。

この問題は以前から指摘されていたが、対応されてこなかった。「読まない人が多いんだよね。」で話が終わってしまっていた。その結果、今では回覧板の廃止まで検討されている。しかし、今回全体で約半分の方が、また女性の 3 分の 2 が回覧板を読んで試乗会に参加してくれた。また、39PJ のアンケートでは全世帯の 6・7 割の世帯が回答してくれた。個人的には回覧板はうまく活用出来れば非常に安価でかつ有効なツールと考えている。

廃止を唱える人達は「たいして見られないのであれば、見たい人は web ページで見て

もらえばよい」と言った意見が多いようだ。ただ、世間の自治会や地域 NPO の web サイトへの訪問件数は恐ろしく低く、ほとんど閲覧されていない。利用者は芸能人やニュースなど見たい情報を検索して見に行くのであって、自治会や NPO が見て欲しい情報を伝えるためには、待っているのではなく、こちらから行動する必要がある。スーパーマーケットは自分たちの web サイトを持っているが、毎週決まった曜日にチラシ広告を入れて来るのはこのためである。回覧板もスーパーの広告チラシの様に個々の家庭まで届き、読者の目の前に情報を提示することができる。読んでもらえれば。

### 提案 1. 回覧板の現状を理解する

- どの程度人が読んでいるのか？
- どの程度丁寧に読んでいるのか？ である。

例えば、以下のようなアンケートを作成し回覧板で調査をすることを提案したい。

今後の回覧板の活用について検討していますので、回覧板の利用状況を教えてください。各ご家庭で、1 行だけお答えください。

丁寧に読む	興味のある所だけ読む	ほとんど読まない	全く読まない
丁寧に読む	興味のある所だけ読む	ほとんど読まない	全く読まない
丁寧に読む	興味のある所だけ読む	ほとんど読まない	全く読まない
丁寧に読む	興味のある所だけ読む	ほとんど読まない	全く読まない

アンケート用紙は回覧板の最後のページに入れて回覧する。

アンケートに答えていない世帯は「全く読まない」にカウントする。

回覧板の班ごとに集計して、町会の全体像を纏める。

### 提案 2. 回覧版の情報の収納方法を変更する

回覧版の内容は、定期的な情報連絡が多く、たまに入る、住民の方に考えてもらったり、行動を促すような啓蒙活動の情報が埋もれてしまう。その為、啓蒙的な情報が目立つように工夫する。例えば現在の回覧板は片側に全ての情報が挟まれているが、これを見開きのバインダーに変更し、一方にはこれまで通りの定期的な情報を挟み、反対側には啓蒙的な情報を挟み、バインダーを開いたときに目立つように工夫する。

- その他の広報活動

### 提案 3. 高齢者マップを作成し、ポスティングで情報提供を行う。

後期高齢者（厳密に後期高齢者である必要は無い）の住んでいる家をマッピングし、高齢者福祉に関する情報や啓蒙活動を直接提供する（ポスティング）。現在青葉台の後期高齢者数は約 1,500 名（900 世帯程度）である。高齢者福祉や啓蒙活動に関する情報を高齢者マップを基にポスティングする。高齢者マップの作成は町会や ASN の会員を通

じて出来るのではないか？町会長や民生員の所には高齢者に関する情報が有るとも聞いている。また、ポスティングもこうした方々のご協力を得て実施できないだろうか？1から7丁目までとダイアパレスで900世帯とすると、1町会当たり平均で120世帯ほどとなるので、各町会で手分けしてポスティングすれば、それほど負担にはならないと考える。

こちら側の資料の他に民間事業者の広告チラシ（宅食や宅配、電動カート等高齢者向けの物）も一緒にポスティングする事も可能。民間企業の広告チラシのポスティングは有料とすることで、情報の印刷費用やポスティングに協力を頂く方への謝礼を確保する事が出来る。民間企業はこのポスティングを使う事で、ピンポイントに対象者に広告チラシを届ける事が出来るため、販売促進費を節約できる（現在高齢者向けの多くの広告チラシが新聞の折り込み等で入るが、実際のターゲットは全体の20%程度と思われる）

#### **提案4. 主要なプレイヤー（各町会の3役（町会長、副会長、会計）及びASNの会員）のメーリングリストを作成する**

本件も39PJの1分野であるが、近年39PJの実施等で町会の活動が活発化している。しかし、こうした活動は町会全体の活動と言うよりも、町会の活動の脇で1部の有志の活動となっており、町会の活動はこれまで通りの活動に留まっている。39PJは町会の活動である以上、まずは町会の役員にはその進捗状況を理解していただき、出来る範囲でご支援を頂きたい。同様にASNの会員の方々は、ASNの理念に賛同頂いた方々であり、ASNの活動状況を伝え、ご支援を頂く必要がある。しかし、現状では、こうした方々にタイムリーに情報を提供できていない。その最大の理由は、これまでこうした方々と情報を共有するメカニズムが回覧板か年に数回発行されてる新聞以外に無いからである。回覧板や新聞はタイムリーな情報共有が困難だけでなく、その内容も非常に限られており、主要なプレイヤーの方々に状況や意図を正しく理解して頂いたり、フィードバックを頂くような双方向のコミュニケーションが困難である。

そこで提案したいのが、2つのメーリングリストである。1つは町会用、もう一つはASN用である。各町会では必要に応じて町会長から各班長へメーリングリストを作成するか、文書または口頭で情報提供いただければと考える。こうしたメーリングリストを活用すれば、タイムリーに、かつかなりまとまった量の情報を提供する事が可能になるのみならず、こうした方々からのご意見や要望、提案も含めた双方向のコミュニケーションが可能となる。

#### 試乗会の方法

今後は、今回のような試乗会は困難となって来る可能性が高い。その理由は、

- みどりが丘集会所、自治会会館を借りるのが困難：



これらの会場は既存の組織が長期に抑えているので、空いている時間がほとんど無い。今回はコロナの関係で実施が半年近く延期になったため、何とか予約を取ることができたが、実施の数か月前では予約が取れない。

- 回覧版での告知では雨天を避ける事が出来ない：  
自治会館等の大きな施設が利用できない場合は、公園等屋外での実施となるが、今回の様に回覧版での告知では、1ヵ月半ほど前に全ての日程を決める必要があるが、雨天での対応ができない。今回の規模での試乗会を実施するとすると、主催者側も参加者側もかなりの人数となり、準備もかなりの規模となる。そうした数日前まで実施の可否が決まらないのは大きな負担となる。

その為、より小規模で臨機応変に実施できる試乗会が必要となる。

#### **提案 5. 試乗会の前 1 週間ほど電動カートを借りて、青葉台の中を走り回り、事前の宣伝活動を行う（樋口さんのアイデア）**

樋口さんは試乗会の当日、暇な時間に 7 丁目や 4 丁目を電動カートで走っていると、住民に声を掛けられて、試乗会への勧誘に成功している。先方は「興味が有った。乗っている人が居たので声を掛けた」とのこと。

こちらで把握している青葉台で電動カートを利用される方は 5 名。こうした方はほぼ行動が決まっており、同じ様な時間に同じ道を通って行動をしているので、利用者を見かける高齢者はかなり限られている。また、私も試乗会の日の午後 3 時頃に 6 丁目を電動カートで回ってみたが、住人に合うことはほとんど無かった。そのため、青葉台の多くの高齢者にとって、電動カートはあまり見かけない馴染みのない移動手段である。そのため、試乗会の事前の宣伝として、青葉台の人がこうした電動カートを実際に利用している所を見てもらい、自分の利用する様子をイメージしてもらうことが、試乗会への参加者の増加につながる。

#### **提案 6. 電動カート 1 台を 1-2 週間借りて、1 日 1 町会を走り回り、興味を持った方に試乗をしてもらう**

上記の提案に追加です。電動カートが青葉台の高齢者にとって馴染みのないものであれば、より多くの人に利用している所見てもらい、認知してもらう事が重要である。そして興味を持ってもらったらすぐに試乗してもらった方が効率が良い。わざわざ後日の試乗会に来てもらうのではなく、その場で試乗してもらえば良いのではないか？しかし、興味が有っても全く知らない人に声を掛けるのは憚られる。そこで試乗会であることが分かるようにして、高齢者の方が外に出る時間帯に町会を走れば興味を持ってもらえると共に、試乗につながる可能性も高い。

必要であれば、老人会や防犯パトロールの方と事前に協議をして個人のお宅へ伺ったり、防犯パトロールの集合場所に行き、防犯パトロールの方々と一緒に並走し、興味を持った方に試乗してもらう事も可能かと考える。これであれば、施設の予約も事前の告知も不要で、天気の良い日に実施すればよいので、簡単である。

他にも、ASNの運営する福祉有償運送の利用者へのアプローチも考えられる。現在ASNのサービスの利用者は150名で、その殆どが青葉台近郊での利用であり、千葉大病院や労災病院と言った遠方の利用者は非常に限られている。運行上の問題から当日の利用依頼には対応できない状況がある。

#### **提案7. 広報で(株)セリオの支援を得て、今回同様の試乗会を公園で実施。**

電動カート、電動アシスト3・4輪車、電動車いすをフルセットで用意し、公園で試乗会を実施する。ただし、雨天を避けるため、最終の実施の決定は実施日の1週間程度前にならざるを得ない。そのため、(株)セリオに新聞広告かポスティングによる広報を行ってもらう必要がある。先に述べた高齢者へのポスティングが実用可能になっていたらこちらの利用も可能。

#### 試乗用車種

今回の試乗会では電動アシスト3輪車と電動カートとしたが、(株)セリオには電動車いすもあり、打合せ時に我々も試乗を勧められた。しかし以下の理由で今回の試乗会には不適と判断した。

- これまで電動車いすは、ショッピングモールや病院など床が平坦でスムーズな所でしか見たことが無かったため、前にハンドルが無い電動車いすは急な坂道や路面状況の悪い所では不安定と考えた
- 試乗会の対象者がまだまだ元気な高齢者や要支援1・2の比較的健康な方なので、車いすが登場すると、試乗会の雰囲気は暗くなるような気がした

今回の青葉台自治会館での試乗会で、最後の1時間ほど電動車いすが登場し、ASNの関係者だけで試乗したが、試乗した人たちの反応は非常に良かった。これは車いすなのでスーパーマーケットや病院にも入っていける。実際、青葉台の利用者で、病院に行く際に手押し車を電動カートに積んで行くという方がいらした。「スーパーは買い物用のカートがあり、これが手押し車の代用となるが、病院には無いので手押し車を持参する必要がある」との事であった。そのため、今後の試乗会では電動車いすも含める事を検討したい。ネットによれば電動車いすの廉価盤が発売されており、定価は現行車種約50万円の半額、25万円ほどである。1点注意が必要なのは、足が不自由な高齢者が最も利用するのが買い物かと思われるが、電動車いすには物を積むスペースが無く、膝の上に載せる事になる。

## 電動カートの普及活動

### 提案 8. 電動カートの理解を得る活動

先日試乗会のビラ配りをしている時に、近所の高齢者にお会いした。彼は自治会でも活躍され、多くの方から尊敬されている。彼の家には奥さんが利用していた電動カートがあり、彼も足が痛い時には買い物にそれを利用していた。しかし、その彼も「やー電動カートはかっこ悪いから使いたくない」と話していた。

また、今回は防犯パトロールの方々へのアプローチも積極的に行ったが、その成果は限定的であった。4丁目の防犯パトロールの参加者に声を掛けても、「今は結構です」との反応であった。高齢者の歩く理由は2つ。健康の為に歩く人たちの様に「歩く事が目的である人達」と、買い物に行く人の様に「移動の手段として歩く人達」。

防犯パトロール参加者の参加動機は「歩いて健康を維持する」が重要な1つであり、電動カートはその目的には合わないため、興味を示さないとされる。しかし、防犯パトロール参加者のもう1つの目的は、「皆と会話を楽しむ」であり、これは足が悪くなくても電動カートに乗って一緒に回れば続けていけるのだが、現状では、足が悪くなると、防犯パトロールに参加しなくなり、他の人達も「足が悪いから参加できない様だね」と納得してしまっている。

人々の考えや行動を変化させる活動をソーシャル・マーケティングと言う。禁煙が有名だ。禁煙の様な全国的な活動ではなく、青葉台のコミュニティーの中で効率的に機能するソーシャル・マーケティングの方法は何が有るのか？

ソーシャル・マーケティングの基本は「気づき」である。情報や話し合い、行動を通じて「気づき」があると、それを起点として考え方や行動に変化を起こすことができる。今回の試乗会も、乗ってもらって「電動カート、結構便利じゃない」とか「結構簡単に運転できるわ」といった気づきを得てもらう事を目的としている。

試乗会に来てくれた方々は良いが、試乗会に興味を持っていない人達の考えや行動を変えるには（つまり試乗会に行こうと思ってもらうには）、情報提供や会話を通じたアプローチが必要となる。つまり、電動カートの利便性と有効性を住民に知ってもらう必要がある。実は4月にweb上でこうした情報を集めようと検索したが、適当なものが見つからなかった。そのため、青葉台で電動カートを利用されている皆さんに聞き取り調査をし、その結果を纏めて回覧することで、電動カートの利便性や利用者の生活の様子などを通じて電動カートがある生活を理解・想像してもらうことに努めた。

今後こうした啓蒙活動を定期的に継続する必要がある。そこで必要となるのが、

電動カート利用による効果を検証した調査報告書である。内容としては電動カート・車いすを利用するようになってからの

- 生活・行動の変化（外出の増加や人との会話の増加等）
- メンタルの変化（気持ちが明るくなったとか、前向きになったとか）
- 身体機能の維持・改善（介護保険の審査項目の改善や維持等）

こうした情報を再度簡単な記事に纏めて定期的に回覧板や高齢者へのポスティングで住民に伝える事で、青葉台の住民の考え方や行動に変化を起こすことができると考える。電動カートは既に大きな市場を形成しており、介護保険の対象にもなっている。専門事業者である(株)セリオ等からの情報提供に期待したい。

#### **提案 9. 「電動カートのある社会：その利点と解決すべき問題点」をテーマで話し合い**

標記のテーマで話し合いをし、電動カートの利用が広がるとどのような利点があるのか？また、どのような問題点があるのか？を整理し、行政や町会、関係者で共有し、必要な対策を講じる必要がある。それでない、事故の発生などで電動カートの普及そのものが困難になる可能性がある。

声を掛ける方々は、今回試乗会への参加を依頼した高齢者福祉の関係者であるオレンジ居宅介護支援事業所、社会福祉法人 地域福祉の会、包括支援センター たいよう、社会福祉協議会、それらか市の高齢者福祉課、交通政策課、それと、現在青葉台で電動カートを利用されている方々、ASN と町会協議会関係者。

#### **提案 10. 青葉台さわやかネットワークによる業務の請負**

青葉台での電動カートの普及やメンテナンス等の事業を ASN が(株)セリオから業務委託を受ける事が出来れば、かなり本格的に普及活動ができる。上記提案 6.のような活動を継続的にできれば、かなりの効果が期待できる。例えば町会毎に 1・2 日ずつ実施すると約 3 週間程で青葉台全体（9 町会）をカバーできる。これを年 2 回、2-3 年継続できれば、青葉台にかなり浸透することができる。こちらで把握している青葉台の電動カートを利用者は 5 名である。これを何とか早急に 30-40 名ぐらいにしたい。各町会に 4-5 名の利用者がいるようになれば、高齢になって歩くのが困難になったら電動カートを利用するのが普通の風景なる。そうすれば現在行っている普及活動は不要となる。

こうした経験を蓄積すれば、桜台や椎の木台、有秋台、光風台などでも町会と協力しながら ASN が主導して試乗会を中心とした電動カートの普及活動を実施することが可能となる。こうした団地は青葉台と地形的にも社会的にもほとんど同じ状況に置かれている。

### 電動アシスト3輪車や電動カートの普及支援プロジェクト概要

#### 背景

青葉台の高齢者の数がピークに達している。また高齢者のみの世帯（35%）や高齢者一人の世帯（11%）が多く、こうした高齢者は今後青葉台で生活を続けて行く上で不安を抱えている。不安の最大のものは、生活に必要な物の買い物に行けるか？病院に行けるか？と言ったもので、移動に関する事が最も多かった。

青葉台は近隣の団地と比べ恵まれており、スーパーマーケットやドラッグストア、郵便局・ATM、病院、歯医者、美容・理容院、趣味のクラブなど、生活に必要なサービスは団地内でほとんど賄うことが可能で、しかも交通量が少なく静かである。

自力での移動に支障がある人たちがこうした機器を利用して自分で買い物や病院、散歩や趣味のクラブに出かけられることは、介護予防に非常に大きな効果があると考えられる。青葉台のスーパーわかば等は高齢者の買い物に補助の人を付けて支援を行っている。

かなり前からこうした機器は市場に出ているが、青葉台での普及は遅れている。田舎に行くと、小さな集落でも高齢者がこうした機器を使って畑に行き行って座り込んで農作業をしていたり、道端に止めて近隣の人と話をしているのをよく見かけるが、青葉台では3,500世帯もあるのに、2-3台しか見かけない。目が悪くなれば眼鏡やコンタクト、耳が悪くなれば補聴器、足が悪くなれば電動アシストである。

まずは興味を持つ人たちを増やし、購入して使ってもらいたい。自分が青葉台で初めての場合は抵抗感が高いが、周りに使っている人達が増えれば、見慣れた風景になり、使用のハードルは低くなる。そのために町会単位ぐらいで試乗会を企画し、実際に使ってみてもらふ必要がある。ダイアパレスや6、7、8丁目の人達は「青葉台の真ん中にある尾根の上へ楽に、そして安全に上られるのか」が最も大きな関心であろう。市原市では販売代理店や福祉器具を扱う事業者が取り扱っている。

#### 目的

電動アシスト3輪車や電動カートの試乗会を通じて、これらの移動手段に対する高齢者の理解を深め、興味を持ってもらい、普及に努める。



## 対象者

- 歩行が困難な人（試乗会では送迎が必要）
- 将来歩行に不安がある人
- 周囲に上記のような人達がいる人

## プロジェクトの概要（案）

電動アシスト3輪車と電動カートの試乗会を開催する。電動アシスト3輪車と電動カートは事業者が用意し、参加者の募集を町会と老人会で行う。

全体像を掴むため、回覧板を通じて興味のある人達を募集する。

試乗会の実施は町会単位とし、1回目は6丁目、2回目7丁目、3回目ダイアパレス、4回目5丁目、5回目4丁目、6回目3丁目、7回目1・2丁目を実施。これは6・7丁目やダイアパレスはスーパーや病院から離れているので、需要が高いと思われるため。ただし、1回の試乗会で10名程度の参加者が必要かと思われるため、それぐらいの参加者になるように、また、試乗のコースが参加者の利用条件に近いように実施町会を調整する。

1回目は6丁目のみどりが丘公園に集合し、参加者が興味のある車種で坂の斜面を上る形で1ブロック程度を回ってくる形で試乗する。6・7丁目、ダイアパレスは何処に行くにも坂を上る・下るの必要があり、急な斜面を楽に登れるのか？安全に降りられるのか？車は安定しているのか？などが最大の興味と思われるため。（試乗会の方法については専門家である事業者からもアドバイスを受ける）。

## 関係者

- 電動アシスト3輪車・電動カートの販売会社、福祉用具の事業者
- 町会長 試乗会への参加者募集（回覧板）
- 老人会、小域福祉ネットワーク 試乗会への参加者募集（参加の勧誘）
- 青葉台さわやかネットワーク 全体のコーディネーション

## 注意点

- 1) 安全管理の観点から各交叉点には人員を配置し、交通の安全を確保する必要がある。
- 2) 路上での試乗会となるため、警察からの許可が必要かを確認する必要がある。

## 備考

- 事業者と青葉台さわやかネットワーク・自治会がどの様にかかわるのか？
- どの様に事業者を選定するのか？

別添資料 2. 協力事業者の選定

業所名	(株)至誠堂 Hanaムツミ福祉用具	(株)セリオ 千葉営業所	(株)タカサ
住所	千葉市緑区おゆみ野1-21-6	市原市五所1669	市原市五井東1-1-1
電話	043-293-8601	0436-98-6707	0436-23-3351
担当者	中山 健司	浅田 幸一	佐々木 勇人
携帯	090-8040-4056	090-7673-9619	080-4455-7578
e-mail	<a href="mailto:hanamutumi.fukushiyougu@kt-group.co.jp">hanamutumi.fukushiyougu@kt-group.co.jp</a>	<a href="mailto:asada@serio888.net">asada@serio888.net</a>	<a href="mailto:h-sasaki@takasa.co.jp">h-sasaki@takasa.co.jp</a>
面会日	2021年2月18日	2021年2月18日	2021年2月22日
会社概要	KTグループの一員である至誠堂の一部門。至誠堂は他に訪問看護ステーションわたぼうしを経営。介護保険用の福祉用具のレンタルを行う中の1つとして電動カートのレンタルを行う。	介護保険における電動カート・電動車いすのレンタル、電動カートの販売・リース、電動アシスト自転車の販売。 1996年7月12日設立、資本金：9,000万円、従業員：403名、営業所：全国35ヶ所、サービスセンター：全国10ヶ所	調剤薬局の経営、一般薬品の販売、介護用品の販売、ストマ装具・人工乳房販売、介護保険関連事業（福祉用具販売・レンタル、居宅介護支援計画作成、サービス付き高齢者向け住宅、通所介護サービス、住宅改修） 設立：1980年10月7日、資本金：7,000万円、従業員：573名、売上高：93億円
試乗車両の有無	電動カートは扱っているが、電動アシスト3輪車は保険外の為扱っていない。しかし、関連会社が借りられるため、試乗会の実施は可能。	電動カート・電動アシスト3輪車のレンタル・販売の専門企業であり、多くの種類の車両を扱っている。	電動カートは扱っているが、電動アシスト3輪車は保険外の為扱っていない。
試乗会の実施経験	包括支援センターたいようとの連携で、屋内での試乗会を2回ほど実施したことが有る。屋外での実施経験は無し。	全国で数多くの試乗会を実施している。	担当者は半年前に市原市に赴任しており、試乗会をやったことは無い。
試乗会実施上の提案	<ul style="list-style-type: none"> <li>・テントや椅子が必要。</li> <li>・試乗の前に車の説明など座学の時間が必要</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・20分程度の座学を最初に実施。できれば公民会等の屋内が良い。</li> <li>・試乗者1人に1名の補助が必要。参加者が多い場合は主催者の方にも事前の研修とお手伝いをお願いしたい。</li> <li>・公園などでの実施を希望、公道での実施では、危険防止のため補助の人員が必要となる。また、事前の練習が必要で、その際に公道での試乗が困難と判断された人は試乗はできない。特に電動アシスト3輪車。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・試乗者1人に1名の補助が必要。参加者多い場合は会社の人間や提携先の人員を動員できる。</li> </ul>
特記事項	ムツミの福祉用具のカタログにセリオの広告がある。セリオと提携していると思われる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・千葉県でも1,000台以上のレンタルを行っている。</li> <li>・出来れば平日の試乗会実施をお願いしたい。</li> </ul>	タカサの福祉用具のカタログにセリオの広告がある。セリオと提携していると思われる。
試乗会の経験	2	1	3
提案事項の有効性	2	1	3
担当者の対応	1	1	1

39PJ

# あきらめていませんか、 一人で買い物に行くことを？

まだまだ一人で買い物に行けますよ！

青葉台の誰もが「心豊かに暮らせるまちに！」を願いに  
電動カートが普通に行き交う風景にしたい！  
自力での移動に支障がある人も出来る限り、買い物や  
病院等へ一人でできる移動手段の紹介です。

## 電動カート<sup>など</sup>試乗会 案内



① みどりが丘集会場 10月 6日 (水)

13:00～16:00

② 青葉台自治会館 10月15日 (金)

13:00～16:00

雨天の時は  
屋内で実施

予約は不要です。都合の良い時に来て、試乗して下さい！

将来歩行に不安がある方や、周囲にこうした人たちがいる方もぜひご参加下さい。歩行が困難な方は、当日送迎を行います。  
尚、歩行困難な方、及び、しっかりと試乗されたい方は、1週間前迄に「青葉台さわやかネットワーク」へお電話下さい。  
62-8215(月～金<除く祝日>) 9:30～16:00



- ・目が悪くなれば ⇒ 眼鏡やコンタクト
- ・耳が悪くなれば ⇒ 補聴器

- ・足が悪くなれば ⇒ 電動カート
- ・車がダメなら ⇒ 電動カート

体験して  
見ませんか！

主催者：青葉台町会協議会  
認定NPO法人 青葉台さわやかネットワーク  
協賛：株式会社セリオ

2021 (R3) 年8月

## 「何故今、青葉台で電動カートの普及なのか？」

青葉台町会協議会と青葉台さわやかネットワーク（ASN）は、青葉台で電動カートの普及を目指し、(株)セリオのご協力を得て試乗会を実施することにしました。そこで、この試乗会実施の背景と、実際に青葉台で電動カートを利用されている高齢者の方及び高齢の親を持つ娘さんのお話を紹介させて頂きたいと思います。

### 1. 多くの高齢者が、免許返納後や、歩行が困難になった際の移動に不安を持っている

2020年に、自治会の町づくり委員会は、10年後の青葉台を考える「39プロジェクト」を実施しました。この中で全世帯に対するアンケート調査とそれに続く住民ボランティアによるワークショップを実施した所、住民の要望が最も高かったのが「高齢になっても永く住み続けられる町づくり」であり、具体的には「免許を返納したり、歩行が困難になった際の移動に不安がある（つまり、買い物や病院に行けなくなる事）」が心配事の80%を占めています。

### 2. 高齢になっても心身共に健康に過ごすには、家から出る、歩く、人と話す、できる事は自分でやる、が重要

多くの高齢者福祉の関係者は、高齢者が心身共に健康に過ごすには上記の4項目が重要と述べています。しかし、歩行が困難になると、歩かなくなるだけでなく、家に引きこもりがちになり、そのため人と話をしなくなり、歩行が困難な事を理由に多くの事(買い物や通院、友人・知人に会う事等)を諦めてしまうなど、歩行以外の事まで止めてしまう高齢者が多い。

### 3. 青葉台には生活に必要な施設がそろっている

高齢になって生活に最も必要な施設は、食料など日々の生活に必要な品を購入するためのスーパーマーケットや持病の治療に通う病院・薬局、年金等の引き出しを行うための金融機関ではないかと考えます。幸いにもこうした施設は青葉台の中に全て揃っています。また、青葉台の道路は全て舗装されており、交通量も少ない。このように、青葉台は電動カートの利用に非常に適しています。

### 4. 電動カートは利用者が少なく、まだ多くの高齢者に認知・受け入れされていない

青葉台で電動カートを利用する方の数は、まだ非常に限られています。その為、自分が免許返納したり歩行困難になった時の選択肢として、電動カートを検討されている高齢者は非常に少ない。「皆が使っていないのに自分だけ利用するのはちょっと恥ずかしい」等の、心理的な障壁もあります。しかし、目が悪くなれば眼鏡、耳が悪くなれば補聴器の様に、「免許返納後や足が悪くなれば電動カート」が普通になって、体の一部の困難の為に将来の生活全体を犠牲にしない生活が定着して欲しいと考えています。

## 5. 介護保険が使える事も

電動カートは、基本的には要介護2以上でないと介護保険の対象になりません。しかし、要介護2以上となると、自力での運転に不安が伴います。その為、「電動カート利用者の7割が自費での購入・リース」との事です。しかし、要介護1以下でも、歩行が困難で生活に影響がある場合は、行政による検討を経て介護保険の利用ができる可能性が有ります。実際、介護保険を利用して電動カートを利用している人の8割は要介護1以下の方とのことです。

## 電動カートを利用されている方のお話

### 青葉台6丁目にお住いの80歳の女性

80歳になる今年までヘルパーのお仕事をされていたほど、通常の歩行や階段の上り下りにも何ら不安のない方です。

最近、子供さんと同居するため青葉台に移ってきた。電動カートはこちらに移ってきてから利用を始めた。これまで何十年も車を運転していたが、子供たちから高齢を理由に「止めた方が良い」「もし事故を起こすと孫の世代迄影響がある」と強く勧められ、車を止めた。ちょうどその頃、買い物に寄ったお店の隣でピンク色の電動カートの中古車を見かけ、値段も手ごろで車に代わる移動手段が必要だったので購入することにした。

購入した店は自信が付くまで何度でも教えに来てくれ、これまでに4回来てもらった。運転に慣れるために毎日電動カートに乗っている。結構難しいと感じる事は、急停車する際に走行中に握っているアクセルを離す事。急停車の際はどうしても強く握ってしまうので、慣れが必要。あと、長年車に乗っていたので、最高時速が6kmはちょっと遅く感じる。

電動カートに乗っての移動は快適。スーパーわかば(約1km)やイトーヨーカドー(約2km)への買い物や、けやき台眼科(約4km)への診療にも電動カートで出かける。以前は、スーパーわかばに買い物に行った帰りに6丁目への坂を上ると心臓がバクバクしていたが、今は電動カートで楽に行ける。イトーヨーカドーやけやき台眼科には歩道を通して安全に行ける。歩道は横に傾いている所は少し怖いですが、その内慣れると思う。桜台の習い事や病院・買い物に、自分の行きたい時に自由に行けるのは良い。子供達に送迎をしてもらおうと、やはり気を遣うから。

これまで車でサーッと通りすぎていた所を電動カートでゆっくり走り、車が入れない所も入っていけるので、色々発見があり、楽しい。電動カートに乗って移動していると風や季節を感じる事ができて気持ちが良い。



## 青葉台 2 丁目にお住まいの 94 歳の男性

ご夫婦二人暮らし。歩くのが余り好きではないので、移動はタクシー、有償介護移送、そして、電動カート使用。高齢なお二人は、歩行には少し問題があるが、頭、目、耳、口、手は 60-70 代の方の様にしっかりとされている。

電動カートの利用を始めて 3 年ほど。長い間、車を使ってきた。すぐその銀行にも車で行っていた。しかし、87 歳で免許を返納したので移動手段を検討する必要があった。包括支援センターに相談したところ、電動カートの利用を勧められた。現在月額 5,000 円でリースしている。

車に乗っていたので、運転自体は簡単だった。ただ、遅いのが不満。自転車に抜かれる。前を歩いている人にも追い付かない。あと、急停止する際に握っているアクセルを離す操作はなかなか慣れない。

現在利用は週に 3 回程度。スーパーわかばやアウル(セイムス)に買い物に行くときに使う。以前はイトーヨーカドーにも行ったが、今は歩道を走っても交通量の多い道は疲れるので青葉台の中の近場だけ。イトーヨーカドーへはタクシー、帝京病院へは有償介護移送、そして近場の電動カートと使い分けている。生活必需品は青葉台の中でほとんど手に入るの、外に行く必要性も感じない。

週に 1 回ヘルパーさんが大体の物は買い物をしてくれるが、急に欲しいものが出てきたときに自分で買いに行けるのは気分がいい。

## 1 丁目にお住まいで、ご両親が電動カートを利用されている娘さんから

94 歳の父と 89 歳の母がおります。両親は昨年夏、長年住み慣れた東京を引き払い姉の住む小田原市曾我谷津に越しました。周りに曾我梅林、ミカン山に囲まれた長閑な所に住んでおります。

電動カートとの出会いは 3 年位前になるのでしょうか？ 86 歳になる母が高齢者運転による痛ましい事故の報道に免許証返納を決めた時です。元々、自転車専門で免許証を持たない父が電動カートに興味を持ち、私の車でディーラーに立ち寄ったのが出会いでした。取り扱いも思ったより早く習得でき父が母に話をしたのです。正直、東京での電動カートの運転は心配でしたが高齢の 2 人が買い物等行くには電動カートが必要でした。ディーラーの方も何回も対応してくださいました。

小田原に越してからは1~2ヵ月おきに小田原と青葉台を行き来するようになり、こちらに来れば1か月滞在。もちろんワゴン車で迎えに行くのですが、お供に電動カートも載せて。こちらで中古を1台購入しました。

青葉台に来たときは散歩をしたり、買物にはもちろん。電動カートで2人で仲良く？ツーリングの時もあります。青葉台から出ることはありませんが、公園巡りをしたり、3丁目の孫の家に行ったり電動カートに相手をしてもらい楽しんでいるようです。2人とも足がだいぶ弱くなりましたが94歳の父、89歳の母にはまだまだ元気でいてもらいたい。と、願っています。

### 青葉台3丁目にお住まいの84歳の女性

毎日畑に出ている元気な女性。電動カートの利用を始めて5年ぐらいになる。以前は自転車で畑等に行っていたが、転んでケガをした事もある。そんな時、友達が電動カートを使っていたので、私も使いたいと思った。これなら転ばないので安全。

毎日、朝電動カートで畑に行く。昼はヨーカドーで食べるのが楽しみ。その後畑に戻り夕方まで仕事をする。畑で仕事をするのは楽しい。今はナスやインゲン豆、キュウリが取れるが、草取りが大変。時々友達が手伝ってくれるので助かる。草刈り機や耕運機も使う。帰宅後に必要があれば電動カートでスーパーわかばに買い物に行く。メディカルキュアにも薬をもらいに時々行く。歩道や車の通りの少ない道を利用する。前から人や車が来たときは、道を譲るようにしている。

電動カートに乗っていて怖いと思った事はない。ただ、電動カートはハンドルの前にあるアクセルを握る形で前に進むので、いつも手をアクセルに添えている。そのため、止まろうとしたときに路面が悪かったり傾いていたりすると、自分は力を入れていないのにうまく止まらず、前に出てしまった事がある。

不満という訳ではないが、遅い。大人が速足で歩くぐらい。自転車には追い越されるし前を歩いている人を抜かそうと思っても抜かせない。

ご協力くださいました皆様、ありがとうございました

別添資料 4. アンケートの結果

お住まい	性別	どの様に知ったか？	試乗会に参加した理由	試乗した感想	今後の活動
青葉台	女性			とても良好	あります
青葉台	女性	回覧板	今後の乗り物を考えました	思った以上に楽に乗ることができました。有難うございます。	
青葉台1	女性	回覧板	今後の為に	私にも出来た。うれしい	
青葉台1	女性	回覧板 ASN老人会	とても便利でした。話を聞いていたので	簡単でした ありがとうございます	
青葉台1	男性	知人(老人会)		非常に快適	
青葉台1	不明	回覧板	自由に移動したい	非常に良かった	介護保険が使える事を希望しています
青葉台2	男性	知人	ゆくゆくは自分も高齢になりお世話になる事は考えられるので、勉強に来ました	安定感があり、使えると良いと思いました	安全性の事、雨降りの時の対応に心配がある。メンテナンスはどの程度か、心配である
青葉台2	男性	回覧板 チラシ	そのうち使いことがあるかも	ハンドル・ブレーキがの感じが自動車と大分違うので慣れが必要	将来の為役立ちました
青葉台2	男性	回覧板	まだ良くわからない	まだ乗り方不安	
青葉台2	男性	ポスター チラシ(ASN、老人会)	乗り心地や各種危険がどんなものか、運転してみたい	三輪車：非常に運転しやすい 四輪車：方向コントロールが難しい 電動四輪：乗りやすく問題ない	専用道路の確保できるか？ 坂道の運転：傾斜や道路表面の落ち葉や水分で具合でどうなる
青葉台2	男性	ポスター	足が弱くなったら乗ってみようかと	悪くない。運転は楽そう	
青葉台3	女性	回覧板	そろそろ車を止めるので	大変面白かった	
青葉台3	女性	回覧板	今後の為に	少しこわかった	
青葉台3	男性	回覧板	私も80歳、高齢者の仲間入りなので、免許返納時に考えたいと思います	最初は不安でしたが、慣れると安心です。	歩道はデコボコ道が多く、小石に乗り上げた際に不安定となる恐れがある
青葉台3	男性	知人	人が乗っているのを見て一回乗ってみたいと思った	いいね	
青葉台3	男性	チラシ		スピード感があった。町内は買い物には便利	

青葉台3	男性	知人(防犯)	先でお世話になるかも	なかなか良かった。価格が問題	皆が気楽に乗れるようになると良いと思う
青葉台3	男性	チラシ(ASN)	歩行に不安	便利さに感じ入った	
青葉台3	男性	チラシ(防犯)	乗用車を廃車にしたため	良好 操作が簡単	
青葉台3	男性	回覧板 ASN	将来免許証返納への対策を知っておきたかった	良くできていると感じました。あまり不安感はなかった	
青葉台4	女性	回覧板 知人 チラシ	足腰が弱くなっているため	良かった、参考になりました	あるある
青葉台4	女性	知人(老人会)	いつか歩けなくなった時の為に	とても良かったです	
青葉台4	男性	その他	老後、介護の為に情報入手	操作が思ったほど簡単で良かった	
青葉台4	男性	チラシ(ASN)	上り坂を楽に登って行けるか興味が有りました	非常に快適でした	介護保険を利用したリースとか有効活用出来ることを普及活動で知らせてい
青葉台5	女性	回覧板	乗っていらっしゃるのを見て、楽しそうだった	思っていたよりスピードが出る	
青葉台5	女性	回覧板	免許書き換えの為	思ったよりむずかしかった	坂道が上りやすいのでいいかな
青葉台5	女性	回覧板	乗ってみたかった	すぐ乗れた	
青葉台5	男性	知人(老人会)	足が悪いから	楽だが操作が慣れるまでチョット	歩道の整備が必要
青葉台5	男性	ポスター	車を止めた後の交通手段を考えていた	4輪車が走りやすかった。車を止める時に考えたい	
青葉台5	男性	回覧板	免許返納後の足にどうか？	楽ちんでGood	
青葉台6	女性	回覧板	近所で乗っている人を見たから	乗り心地が良かった	
青葉台6	女性	緑会			
青葉台6	女性	知人の紹介	現在は運転ができるが、先行き免許がなくなった時の事を考えて	6kmで進むとかなり速度が速くなるので、ちょっと怖かった	
青葉台6	女性	回覧板	この先乗る機会が有れば	思ったより簡単でした	
青葉台6	男性	回覧板	自分の老後を考えて必要と思った	とても使いやすく、便利な乗り物だ。高齢化社会に広めて欲しい	さわやかネットワークの会員なので支援に協力して行きたい

青葉台6	男性		免許返納した	簡単 分かった	
青葉台7	女性	回覧板		思った以上に乗り心地が良かった	買い物が楽になるなー
青葉台7	女性	回覧板、知人の紹介	先が心配だから	車のアクセルの使い方で、乗ったからすぐに止まってしまった。練習が必要	
青葉台7	女性		一度使ってみたいと思っていた	ゆっくりで安心	
青葉台7	女性	回覧板		思っていたより早い。少し練習しないと怖い	
青葉台7	女性	知人の紹介	さわやかな関係の人に勧められた	思ったより乗り心地が良く、楽に乗る事ができました	興味が有る
青葉台7	女性			バイクより難しい。でも安全かも	
青葉台7	女性	回覧板	80歳近くになって足が弱くなってきたので、街を歩くと良いなと	新車に乗った気分がよかった。ありがとうございました	緑会
青葉台7	女性	チラシ	いずれは乗ってみたい	やさしかった	
青葉台7	女性	回覧板	坂道が楽に移動できそうだから	自転車の様にバランスが難しい	
青葉台7	女性	チラシ		簡単で良かった	来年4月に免許が切れる。その時はお願いしたい
青葉台7	女性	回覧板	主人の足が悪い	良い	
青葉台7	男性	回覧板	将来免許返納後の移動手段として有効と思う。	大変楽に操作できる点がよい	
青葉台7	男性	回覧板、知人、ポスタ	どんな物か知りたかった	良好	年取ったら、また知人の説明に活用したい
青葉台7	男性	回覧板	いずれ何らかの方法で必要となる	スイッチ一つづつが面倒。雨天時の対策が必要ではないか？	
青葉台7	不明	知人の紹介	一度乗ってみたかった	操作がなかなか覚えにくそう	
姉崎東3	男性	知人	近い将来必ず必要となる交通手段と思われる	予想に反して取り扱いがスムーズ(今の年齢だからそう感じるのかも知れないが)	集合住宅でも取り回しができるような超小型TYPEの検討をして欲しい
権現堂	女性	回覧板	仕事関係の勉強の為 ケアマネさん	思ったより安定感は在りましたが、使用方法の十分な説明が必要と感じました	

2021年11月7日

認定NPO法人 青葉台さわやかネットワーク

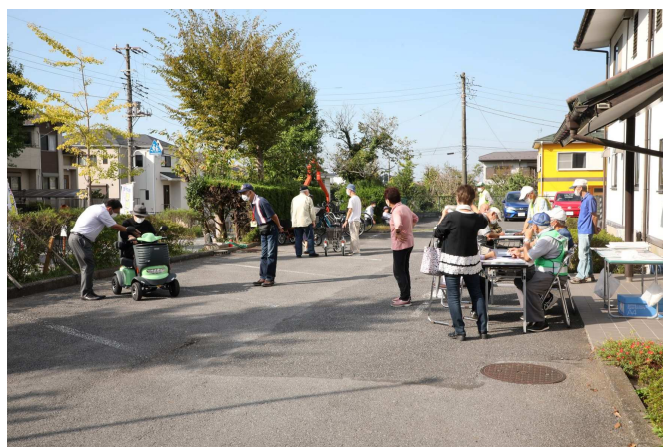
## 電動カート試乗会のご報告

9月の回覧板でご連絡しました電動カートの試乗会を2021年10月6日（水）と10月15日（金）に13:00から、みどりが丘集会所と青葉台自治会館で実施しました。

試乗会は『「青葉台の誰もが心豊かに暮らせる街に！」を願いに、電動カートが普通に行き交う風景にしたい！自力での移動に支障がある人も、出来る限り一人で買い物や病院等に行けるように』を目指しました。

当日は各日とも天候に恵まれ、多くの方にご参加頂きました。

試乗会にご参加頂きました青葉台の皆様、そして、ボランティアで運営を支えてくださいました青葉台さわやかネットワークの会員の皆さんと機材の提供と技術指導を担当して頂きました（株）セリオさん、有難うございました。





今回試乗会にご参加頂いた方は全体で 57 名、その内、電動カートに興味を持たれて参加された方が 53 名、こちらからお誘いしたケアマネジャーさんが 4 名。

町会別では 1 丁目 4 名（男 2、女 2）、2 丁目 5 名（男 5、女 0）、3 丁目 9 名（男 7、女 2）、4 丁目 4 名（男 2、女 2）、5 丁目 6 名（男 3、女 3）、6 丁目 8 名（男 5、女 3）、7 丁目 15 名（男 3、女 11、不明 1）。8 丁目とダイアパレスからのご参加は在りませんでした。まだ若い方が多いのがその理由かと思われます。

各町会の人口が大きく異なるので一概には言えないのですが、スーパーマーケットや病院から距離がある町会の方の参加が多いように感じます。また、7 丁目の女性が 11 名参加されていますが、やはり女性が家事などを担当する事が多いため、買い物など外出の必要に迫られているのかも知れません。

#### 試乗会に参加した理由

将来必要になるかも	14
乗ってみたかった	10
車をやめた(時のため)	10
足腰が弱った(時のため)	6
自由に移動したい	1
知人に勧められた	1
合計	42

#### 試乗した感想

良い、楽	23
簡単	13
慣れが必要	7
少し不安	4
スピードが出る	3
合計	50

試乗会への参加理由は、今すぐに必要と言うよりも、「今後必要になった時の選択肢の 1 つとして経験しておきたい」と考えご参加頂いた方が多く、主催者側の「元気なうちに色々な選択肢を試してみて、自分に合ったものを検討して頂きたい」との意図に賛同された方々にお集まり頂きました。

また、試乗した感想は、7 割以上の方から良い、楽、簡単といった好意的な評価を頂き、また、これ以外の感想も否定的なものではなく、試乗すれば電動カートの良さや可能性を理解していただけると感じました。

「目が悪くなれば眼鏡」「耳が悪くなれば補聴器」「足が悪くなれば電動カート」をキャッチフレーズに試乗会を開催しました。目が見えにくくなっても車の運転やテレビの視聴、外出を諦めたりしません。眼鏡を掛ければこれまで通り生活できるからです。多くの方が使っているので、目が悪くなったら眼鏡を掛けるのが当たり前になっています。将来の免許返納や足の不調等で移動を心配されている方には、是非電動カートを選択肢の 1 つとしてご検討頂きたいと思ひます。

今後も色々な形で電動カート・電動車いす・電動アシスト 3 輪車等の普及を行っていきたくて考えていますので、よろしくお願ひいたします。